

『23 ヒキガエルとロバ』

主題名：命を大切に
内容項目：D 生命の尊さ

教科書p.98～101

学習活動、主な発問、予想される児童の反応例	指導上の留意点、ICT機能の活用例
動物や植物を見たときの気持ちを考える。 ○身近な動物や植物を見るとどのような気持ちになりますか。 ・かわいい。 ・きれい。 ・虫は気持ち悪いと思うこともある。 ○今日は、「命を大切に」をテーマに話し合っていきます。	<p>*さまざまなおもてや植物についての写真を見せて、本時の教材に関わる「ヒキガエル」についてもふれるようにする。</p> <p>*主題にもある「命を大切に」を意識させて、話し合いにつなげていく。</p>
教材を読んで、話し合う。 考え方 ①アドルフたちはどんな気持ちで、カエルに石を投げつけていたのでしょうか。 ・当ててやる。 ・気持ち悪いから当ててやろう。	<p>*アドルフたちが楽しんでいる気持ちに共感させながらも、アドルフたちが行っていることは正しいのか、実態に応じて問う。</p> <p>*ICT活用 ①意見集約機能、②テキストマイニング機能：意見集約機能を使い、考えを集約する。集約した考えは、「テキストマイニング」を用い、短いキーワードとして提示することで、視覚的に考えを捉えやすくなる性質がある。</p>
③このお話をよいところを話し合いましょう。 ・ロバが、自分よりも小さなヒキガエルの命を精一杯守ろうとしたところ。 ・今までヒキガエルのことをいじめていたアドルフたちが、ロバの行動を見て、自分たちの行動について考えていたところ。	<p>*共有画面を見ながら、ペア（グループ）で話し合う時間を設けてもよい。</p> <p>*「命」についての発言が出た際には、主題名にもある「命を大切に」とはどのようなことなのかについて考えられるようにする。その際には、小グループでの話し合いや、児童の意見を認めたり、深めたりする発問を行い、じっくりと話し合えるようにする。</p>
本時で学んだことを今後の自分の生き方にどうつなげるか考える。 深めよう ④ロバの行動から学んだことはなんでしょう。自分の考えをまとめてみましょう。 ・自分の命は大切だけど、他の生き物の命も大切にしていかなくてはならない。 ・アドルフたちがしていた行動はまちがっていたので、自分たちはこのようなことを行わないようにしたい。	<p>*これまでの生活を振り返り、生命の尊さについて考えをまとめることで、自分の生活に生かせるようにする。</p>
教師の話を聞く。	<p>*身近な動植物の命など、命あるものを大切にすることについて、今までの経験をもとに語り、本時の内容を自分の生き方にどのように反映させるかを考えさせたい。</p>

ICT機能の活用

①意見集約機能

意見集約機能のあるアプリ（Microsoft Forms、Google Formsなど）を活用し、児童の考えを瞬時にまとめる。まず、児童の端末へ問い合わせ、児童は、各自の端末で考えを打ち込む。その後、教師へ返信させ、教師は送信された考えを集約する。

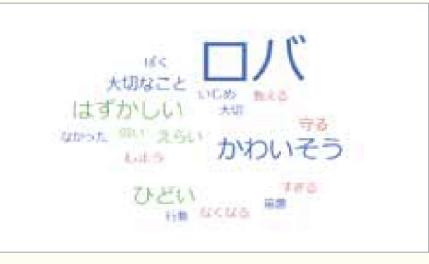


②テキストマイニング機能

児童から送信された考えは、集約したのち、テキストマイニング機能を活用して、全体の考え方の傾向を単語で表示し、可視化する。テキストマイニング機能は、単語というキーワードによって視覚的に捉えやすくなる性質がある。

また、出現数の多い単語は大きく示されるが、話し合いの際には、小さく表示された単語にも着目するように留意する。

テキストマイニングの表示をもとに、子どもたちが気になる単語に着目し、それを話題として、全体で話し合うことが想定される。



板書例



児童の学習状況(活動)の評価

〔評価の視点〕

- ①「生命の尊さ」に対する他者の考え方について、生命を大切にすることのよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。（授業中の姿や発言、ワークシートの記述、ICT端末での記述）
- ②生命の大さについて、自分との関わりで考えることができているか。（授業中の姿や発言、ワークシートの記述、ICT端末での記述）